

交通安全協会だより（令和3年1月号）

～ 高齢者の交通事故を防止するためのポイント ～

昨年中の徳島県での交通事故発生状況は、発生件数、死者及び傷者数とも全てにおいて減少しましたが、依然として交通事故死者数に占める65歳以上の高齢者の比率が高い傾向となっています。

特に、高齢者は「歩行中」や「自転車乗車中」の事故が他の年代に比べて多く発生する傾向にあります。

交通事故を他人事と考えることなく、「だれでも交通事故に遭う危険性がある。」ことを常に意識するとともに、交通事故に遭う危険性を少しでも低くするために、交通事故を防止するためのポイントを日頃から実践し、習慣付けるように心がけましょう。

交通事故を防止するためのポイント【歩行者編】

- ◎ 道路を横断するときは「横断歩道」を渡りましょう。
信号機が赤色、黄色、青色点滅は横断せず、青色になるまで待ちましょう。
- ◎ 車の直前、直後の横断はやめましょう。
- ◎ 車道の斜め横断はやめましょう。
- ◎ 夜間歩行する時は、反射材を着用（装着）しましょう。

交通事故を防止するためのポイント【自転車編】

- ◎ 交差点では、必ず一時停止して左右の安全確認をしましょう。
特に、通り慣れた場所ほど油断大敵です。
- ◎ 急な進路変更はやめましょう。
- ◎ 車道では左側通行をしましょう。
- ◎ 自転車には反射材を付け、暗くなったらライトを点灯しましょう。
- ◎ 夜間、自転車を運転する時も「反射材」を身に付けて目立つ工夫をしましょう。

交通事故を防止するためのポイント【ドライバー編】

- ◎ 身体機能及び認知能力の変化等を自覚し、ゆとりある安全運転をしましょう。
- ◎ 運転前には体調を確認し、持病や服薬の状況によっては運転を控えることも大切です。
- ◎ 後部座席同乗者もシートベルトを正しく装着し、被害の軽減に努めましょう。
- ◎ 夕暮れ時（薄暮時間帯）の早めのライト点灯に努めましょう。

今年の交通安全年間スローガン

- ☆ 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの
ゆとりある 心と車間の ディスタンス
- ☆ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
ママなんで？ 赤は止まると 習ったよ
- ☆ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの
自転車に 乗るならきみも 運転手

